

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラムポスター一覧

登録番号	受入コンサルティング企業	募集人数	テーマ
1801-開コ01	株式会社日本開発サービス (エチオピア)	1	エチオピア国品質・生産性向上、競争力のためのカイゼン実施促進能力向上プロジェクト (第二次契約)
1801-開コ02	株式会社アースアンドヒューマン コーポレーション (エチオピア)	1	エチオピア国水技術機構 (EWTI) 研修運営管理能力強化プロジェクト
1801-開コ03	一般財団法人日本国際協力センター (JICE) / 東京芸術大学 (エジプト)	1	大エジプト博物館開館支援合同修復プロジェクト
1801-開コ04	株式会社オリエンタルコンサルタン ツグローバル (スリランカ)	1	New Bridge Construction Project over the Kelani River
1801-開コ05	八千代エンジニアリング株式会社 (インドネシア)	1	インドネシア国ジャカルタ地盤沈下対策プロジェクト
1801-開コ06	株式会社エックス都市研究所 (スリランカ)	1	スリランカ 廃棄物管理における汚染防止・環境負荷低減
1801-開コ07	日本工営株式会社 (インド)	1	ヒマーチャルプラデシュ州作物多様化推進プロジェクト フェーズ2

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ01
■企業名：	株式会社日本開発サービス	募集人数 (人)	1
■実施国：	エチオピア		
■プロジェクトサイト：	アジスアベバ		
■プロジェクト名		■スキーム名	
エチオピア国品質・生産性向上、競争力のためのカイゼン実施促進能力向上プロジェクト（第二次契約）		技術協力プロジェクト	
<p>エチオピアは、近年高いGDP成長率を維持しているが、GDPに占める製造業割合は低く、製造業の立ち遅れに加え、その品質や生産性の低さが輸出振興や国内外からの投資促進の障壁となっている。</p> <p>エチオピア政府は、日本の品質・生産性向上の理念や手法としての「カイゼン」に強い関心を持ち、JICAに支援を要請すると共に、後のエチオピア・カイゼン機構（Ethiopian Kaizen Institute: EKI）となる組織を立ち上げた。JICAは、2009年から品質・生産性向上（カイゼン）分野に関する協力を開始し、EKIを中核としたカイゼン活動を民間企業等へ持続的に普及させる仕組みを確立させるための技術協力を実施してきた。</p> <p>本プロジェクトは、エチオピアの輸出産業や輸入代替産業における品質・生産性が向上し、産業競争力の強化に貢献するため、EKIを核としたカイゼン普及体制の構築を支援し、かつEKIを通じて民間および公的セクターにおけるカイゼン活動を実践できる産業人材を育成することを目標として、2015年～2020年の5年間に亘って活動を実施している。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>《EKIコンサルタントに対する研修の運営実施補助》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カイゼン活動を実践できる産業人材を育成するため、EKIのコンサルタントに対して日本人専門家が計8ヵ月にわたるカイゼン研修を実施している。具体的には、1ヵ月の理論研修（Class Room Training: CRT）と7ヵ月のモデル企業現場における実践研修（In Company Training: ICT）から成り、CRT研修の運営設備補助や研修教材準備、ICT研修時の企業訪問への同行・現場写真撮影、ICT企業情報や研修生評価結果などのエクセル・ワード等による情報整理等をインターンシップ内容として想定する。 <p>《その他プロジェクト活動に関する運営実施補助》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記研修活動のほか、プロジェクトで実施している各種活動（委員会やセミナー等の開催、EKIの広報活動や地方におけるカイゼン実施機関に関する調査・助言、EKIに対する組織強化に関する活動等）に対する運営補助業務（議事録や各種資料のエクセル・ワード・PPT等による作成支援等）を想定する。 			
■プロジェクトの参考情報			
<p>■安全ブリーフィング終了後の移動方法</p> <p>JICA「ODA見えるかサイト」 https://www.jica.go.jp/oda/project/1400425/index.html</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
前述のEKIコンサルタントに対するカイゼン研修での、ICT企業現場研修への同行等を想定。			
2018年10月～2019年3月までの間の約1ヵ月間			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：プロジェクト活動および受け入れ時の体制により時期の調整が可能。			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
社会人		特になし。	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
海外での勤務経験等があればなお可。			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項) _____			
■備考・留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）目安：1,500円/日 ・宿泊費（首都）目安：5,000～6,000円/泊 ・宿泊費（プロジェクトサイト）目安：5,000～6,000円/日 			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ02
■企業名：	株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション	募集人数 (人)	1
■実施国：	エチオピア		
■プロジェクトサイト：	アディスアベバ		
■プロジェクト名		■スキーム名	
エチオピア国水技術機構（EWTI）研修運営管理能力強化プロジェクト		技術協力プロジェクト	
■プロジェクト概要			
<p>我が国は、1998年から2013年の約15年間継続して、エチオピア国水技術機構（以下、「EWTI」という。）の前身であるエチオピア水技術センター（以下、「EWTEC」という。）の能力強化を通じて、約4,000人の水分野に従事する技術者の育成を支援してきた。その結果が評価され、2013年8月にEWTECは水灌漑電力省（以下、「MoWIE」という。）の一機関という位置づけから国立公益機関EWTIへと昇格し、水分野の人材育成の中核機関として位置づけられた。</p> <p>しかしながら、EWTIが戦略的且つ継続的に質の高い水技術者育成に貢献するためには1）組織運営の課題、2）研修運営の課題、3）講師指導能力の課題に取り組む必要があることが判明した。</p> <p>そのため、本プロジェクトではPDCAサイクルに基づきEWTI教育訓練総局の研修マネジメント能力を強化する他、パイロット研修の企画運営能力強化や内部研修を組織内で持続的に実施する仕組みづくりなどを通して、EWTI教育訓練総局の計画・管理能力の強化を図ることを狙いとしている。</p>			
■インターン活動内容			
<p>日本人専門家の補助員として、プロジェクト全般の運営管理業務の支援を行う。具体的な業務としては、事務管理業務、各種研修・ワークショップの準備・運営補助業務、各種会議への参加、ビジターの受け入れなど。得意分野、特に関心の高い分野や課題について独自の活動計画に沿った活動を提案することも可能（例：研修評価の方法と管理システムについての調査・提案、低コスト技術のデモサイト設置支援）。また、広報活動の一環として、コーポレート・コミュニケーション局と協働で、ニュースレターの作成支援、プロモーション・グッズ（ビデオ資料など）の作成支援などを行う。水・衛生分野で活動する他機関との交換、JICAの他プロジェクトや青年海外協力隊などとの交流・交換も積極的に行っていただきたい。</p>			
■プロジェクトの参考情報			
www.ewti17.com			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
EWTIで実施される各種技術研修、プロジェクトで実施する各種技術研修・ワークショップ等			
■受入れ時期・期間			
2018年9月～12月頃 1か月程度			
理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可			
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
英語でのコミュニケーションが可能な方、基礎的なPC操作のスキル（Word, Excel, PowerPointなど）を有する方、チームでの活動を厭わない方			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(提供可能な事項) <u>インターネット接続環境</u>			
■備考・留意点			
<p>コンサルタント・チームの一員として自覚を持ち、責任ある行動をとること。プロジェクトはあくまでエチオピア人カウンターパートの能力向上と心得、エチオピア側の自主性と活動の持続性に配慮した活動を心掛けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）目安：1,500～円/日 ・宿泊費（首都）目安：4,500～7,000円/泊 			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ03
■企業名：	一般財団法人日本国際協力センター（JICE）/東京芸術大学	募集人数 (人)	1
■実施国：	エジプト		
■プロジェクトサイト：	大エジプト博物館		
■プロジェクト名		■スキーム名	
大エジプト博物館開館支援合同修復プロジェクト		技術協力プロジェクト	
■プロジェクト概要			
<p>エジプト政府は、GEMの付属施設として保存修復センター（Conservation Center：以下、「GEM-CC」という。）をエジプト側予算で建設し、GEMに展示される文化財の保存修復を行っている。JICAはGEM-CCに対して「大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」を実施し、2008年6月からGEM-CCの計画・設計・運営や収蔵品のデータベース構築等に関する協力（第1フェーズ）、2011年7月から2016年3月まで、本格協力フェーズに移行し、文化財の保存・修復にかかる多数の研修（第2フェーズ）を行ってきた。現行フェーズでは、ツタンカーメン王の遺物を含む72点の木製品、染織品、壁画・石材からなる対象遺物の実物を取り扱い、2019年11月までの3年間の予定で、エジプト、日本双方の学際的な専門家が協同して保存修復作業にあたっている。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>大エジプト博物館保存修復センター内に設置されているプロジェクトオフィスでの日本人業務従事者の業務補助（プロジェクト・マネジメント、業務調整、資機材調達等多岐にわたる）および日本より短期で派遣される日本人専門家とカウンターパートのエジプト人専門家による合同での保存修復作業の活動記録、報告書作成の補助等を中心とする。活動場所は、大エジプト博物館以外に、必要な場合にはカイロ・エジプト考古学博物館での活動も含まれる。</p>			
■プロジェクトの参考情報			
<p>http://www.jicagem.com/about_us/?lang=ja https://www.facebook.com/GEM.JC.Project/posts/859321820906646</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
大エジプト博物館部分開館（現在、2018年末の部分開館が予定されているが、日程変更の可能性あり。）			
2018年8月～12月のうちの1か月以上2か月未満			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人全て可		考古学、文化財学、博物館学	
■応募資格以外に受入に必要な要件			
要件ではないが、応募者多数の場合は、学部にて関連学部へ所属する（所属した）者、学術的な報告書作成経験の有る者、必要なPCスキルを有する者を優先する。			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(提供可能な事項) _____			
■備考・留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）目安：2000円/日 ・宿泊費（首都）目安：2000円/泊 ・宿泊費（プロジェクトサイト）目安：2000円/日 			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ04
■企業名：	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル	募集人数 (人)	1
■実施国：	スリランカ		
■プロジェクトサイト：	コロンボ（首都） New Bridge Construction Project over the Kelani River 現場		
■プロジェクト名		■スキーム名	
New Bridge Construction Project over the Kelani River		有償資金協力	
■プロジェクト概要			
<p>スリランカでは、年率7%を超える経済成長を達成し、本格的な成長期にある。しかし、急速な発展の一方で、コロンボ市内の都市交通網の整備が追い付いておらず、交通渋滞が深刻化している。特にコロンボ市の北側を流れるケラニ河に架かる「新ケラニ橋」は、第二の都市のキャンディー市へ通じる国道や、空港へのアクセス道路などからコロンボ市内へ通じる玄関口として交通の要衝であるが、交通需要の著しい増加に対応できておらず、大きなボトルネックとなっている。本事業では、既存のケラニ橋において急増する交通需要に対応するため、同橋に隣接して新橋および高架アクセス道路等を建設することで、交通の分散化と慢性的な交通渋滞の改善を支援する。本事業は、本邦技術活用条件（STEP）適用事業として実施され、既存交通への影響を最小限に抑えるための本邦企業が有する鋼製橋脚などを採用し、また、日本国内で技術が培われた「エクストラドーズド橋」が採用されており、同国経済の中心地であるコロンボ市の玄関口としてふさわしい景観を兼ね備えた橋梁が建設される計画である。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>コンサルタントが海外で行う道路、橋梁工事の日常の施工監理業務を日本人及び第三人、現地技術者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工事の各段階での立会検査。 ●施工監理ための試験室で行う各種試験の参加。 ●施工業者との工事に関する書類のやり取り。 ●安全パトロールへの参加。 ●月例、週間工程会議への参加。 ●その他、海外コンサルタントが行う業務の支援業務 			
■プロジェクトの参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入れ時期・期間			
2018年7月下旬から2019年3月末 の1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		建設工学	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）目安：2,000円/日 ・宿泊費（首都）目安：8,000円/泊 ・宿泊費（プロジェクトサイト）：8,000円/日 			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ05
■企業名：	八千代エンジニアリング株式会社	募集人数 (人)	1
■実施国：	インドネシア		
■プロジェクトサイト：	ジャカルタ市内		
■プロジェクト名		■スキーム名	
インドネシア国ジャカルタ地盤沈下対策プロジェクト		開発計画調査型技術支援	
■プロジェクト概要			
<p>インドネシア国ジャカルタでは、地下水の過剰汲み上げによる地盤沈下が顕著であり、洪水、高潮などの水系リスクを助長し、洪水被害を増大させ、併せて物流の停滞等の社会経済への影響も大きくなっている。これに対し地盤沈下に関する国等の組織体制が未整備であり、地下水揚水規制の前提となる代替水源が確保されていないのが現状である。本プロジェクトは、ジャカルタ特別州において、地盤沈下の諸原因に関する調査を行い、地盤沈下対策を推進するためのアクションプランを策定し、その過程でインドネシア側の人材育成を行うことを目的とする。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・地盤沈下に係る既存データ収集整理 ・現地視察 ・地下水解析に係る再委託（AMT探査、観測井掘削）作業施工管理、社会調査への同行 ・Working Group Meetingへの参加及びファシリテーターに対するアシスタント 			
■プロジェクトの参考情報			
https://www.jica.go.jp/press/2017/20170727_03.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
ワーキンググループ会議、現地視察、再委託現場視察			
2018年8月後半～9月前半1ヶ月			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：団員のアサイメントスケジュールによる。			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学院生・社会人ともに可		河川、地下水、水資源、防災	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
特になし			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）目安：4,000 円/日 ・宿泊費（首都）目安：6,000 円/泊 			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ06
■企業名：	株式会社エックス都市研究所		募集人数 (人) 1
■実施国：	スリランカ		
■プロジェクトサイト：	コロンボ、クルネガラ、ラトナプラ、カタラガマ		
■プロジェクト名		■スキーム名	
スリランカ 廃棄物管理における汚染防止・環境負荷低減		その他	
■プロジェクト概要			
<p>(専門家派遣事業)</p> <p>2000年にスリランカ国が「廃棄物管理国家戦略」を制定して以降、我が国はJICAを通じて、開発調査(2002-2003)、技術協力プロジェクト(2007-2011)を実施して廃棄物問題の改善に貢献してきた。また、2008年よりスリランカ中央環境庁が所管するピリサルプログラムも始まり、生活環境の衛生問題は改善されてきた。一方で経済発展によりごみが増大かつ多様化する中、最終処分場の環境改善やコンポスト化などの廃棄物減量化といった、課題への取り組みが重要となってきている。このような課題に対処するために、現地で入手可能な資材を用いた科学技術協力-SATREPSプログラム「廃棄物処分場における地域特性を活かした汚染防止と修復技術の構築」(2011-2016年)ーが実施され、ここで作成されたSATREPSガイドに示されるいくつかの技術が開発された。本プロジェクトでは、これらSATREPSの技術を実際の現場に適用してその有用性を確認すると共に、広く全国に普及して多くの廃棄物施設の周辺環境の改善を目指して業務を遂行する。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>本案件ではスリランカ全国の地方自治体のうちラトナプラ市、クルネガラ市、カタラガマ村の3箇所で、SATREPSの技術を適用した既存最終処分場の改善および、3Rsの促進に関するパイロットプロジェクトを実施する。案件の後半(2018年9月以降)では、これらパイロットプロジェクトの成果のモニタリングと評価を行い、これを基に最終処分場改善マニュアルおよび3Rs普及マニュアル等を作成する。インターンシップの活動内容は、これらマニュアル作成に必要なモニタリングデータの整理や評価の補助を担当する。想定されるモニタリングおよび評価項目は以下のとおりである。</p> <p>-水質(地下水、浸出水) -大気(騒音、振動) -3Rs実施後のごみ組成 -改善後最終処分場の運営状況 など</p>			
■プロジェクトの参考情報			
http://www.cea.lk/web/?option=com_content&view=article&layout=edit&id=1057			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入れ時期・期間			
2018年9月下旬から3週間程度または、11月中旬から3週間程度を希望する。			
<input type="radio"/> 調整可 <input checked="" type="radio"/> 調整不可 理由：これ以外の時期は、案件担当者が現地にいない可能性があるため			
■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		理系(工学部、理学部、農学部)が望ましい	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
■提供可能な執務環境等(可能な項目にチェックを入れてください。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項) _____			
■備考・留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費) 目安: 1,000 円/日 ・宿泊費(首都) 目安: 7,000円/泊 ・宿泊費(プロジェクトサイト) 目安: 3,000 円/日 			

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入企業先		登録番号	1801-開コ07
■企業名：	日本工営株式会社	募集人数 (人)	1名
■実施国：	インド		
■プロジェクトサイト：	ヒマーチャルプラデシュ州ハミルプール県他4県		
■プロジェクト名		■スキーム名	
ヒマーチャルプラデシュ州作物多様化推進プロジェクトフェーズ2		無償資金協力	
■プロジェクト概要			
<p>本プロジェクトでは、ヒマーチャルプラデシュ州において作物多様化推進のための農業普及員の能力開発、有望なパイロット活動の発掘・実施、マーケティング支援、持続的な農業生産計画・マーケティング計画の策定を通じて、ヒマーチャルプラデシュ州政府農業局（DOA）の組織的な能力向上を図る。さらに、ヒマーチャルプラデシュ州対象地域5県における、気候条件（農業生態的条件）に基づく作物多様化推進を通じた農家の農業所得向上・安定に寄与することを目指す。プロジェクト期間は、2017年2月から2022年2月までの5年間。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じた各セクター（普及、野菜栽培、水管理、流通、ジェンダー等）の作業補助 - 各種報告書作成支援 			
■プロジェクトの参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
対象地域5県への視察、県コーディネーター会議、各セクターの現場作業等			
■受入れ時期・期間			
2018年8月～9月			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		農業関連（園芸、食用作物、農業経済、農産加工等）	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
特に無し			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
<p>プロジェクト宿舎に空き室がある場合には、その空き室の利用可（宿泊費、食費は別途徴収）。宿舎での食事はインド料理が基本。宿舎では団体生活となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）：600円/日 ・宿泊費（首都）：6,000 円/泊 ・宿泊費（プロジェクトサイト）：4,000 円/日 			